

No.1

31 Oct. 2003

日本・パプアニューギニア協会会報

# ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成15年10月31日

編集 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10 松晃ビル4F (ニューギニア航空日本支社内) TEL03-5216-3555 FAX03-5216-3556

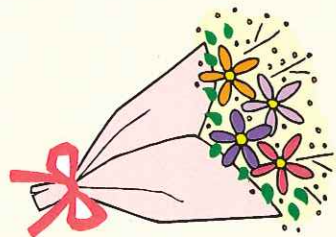
印刷 有限会社 クレスト



## ご挨拶

日本・パプアニューギニア協会

会長 谷口 誠



この度新しく発足いたしました「日本・パプアニューギニア協会」の機関誌「ごらくちよう」の創刊号発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私は1983年から約3年半、パプアニューギニアに在勤いたしました。私の長い在外勤務の中でも、強く印象に残っている国であります。その当時、パプアニューギニアはまだ独立後10年に満たない若い開発途上国であり、治安も生活条件も決してよくはありませんでした。しかし、パプアニューギニアは、第二次世界大戦中不幸にして日本の戦争の被害にあったにもかかわらず、対日感情は悪くなく、在住の日本人コミュニティと力を合わせて、日本とパプアニューギニアの友好関係を深めるため、楽しく働くことができました。

1985年には、中曽根総理が公式訪問され、同年ソマレ首相も日本を公式訪問されました。パプアニューギニアは大洋州島嶼国の中でも、国土面積及び人口は最大であり、また資源にも恵まれ、将来大洋州地域の発展、安定にとって重要な役割を担う可能性を秘めている国であります。

その意味でパプアニューギニアは日本にとって重要な国であります。

本年パプアニューギニアは独立28周年を迎え、独立の父ともいえるソマレ首相のもと、懸命に国造りに励んでいます。

私は、日本はこのような自助努力を積極的に支援すべきであると信じています。

このような視野に立ち、当協会は文化、ビジネス、学術、観光、スポーツ、経済技術協力、人物交流、慰霊事業など幅広い分野での活動を行い、また、医療、保健、福祉、教育、災害救援などの支援活動も行っていきたくと考えております。

本年5月14日には、太平洋・島サミット参加のため、ソマレ首相が来日されましたが、当協会は日本・パプアニューギニア議員連盟との共催のもと、多くのご参加者を得て、盛大な歓迎レセプションを開催することができました。また、9月20日には、パプアニューギニア独立28年を記念して、パプアニューギニア大使館、日本・パプアニューギニア議員連盟との共催のもと、群馬県富岡ゴルフ場にてチャリティ・ゴルフ・トーナメントを行いました。悪天候にもかかわらず約150名の方々にご参加いただきました。

当協会は発足したばかりの若い協会ではありますが、若いからこそ様々な可能性を秘めているのであり、本協会の目的、活動内容をご理解いただき、ぜひ本協会を盛り立てて下さいますようお願い申し上げます。

そのためにもパプアニューギニアにご興味のある方には奮って当協会にご加入下さいますようご推奨いただきたくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

### 谷口 誠 会長 プロフィール

1930年 大阪生まれ

1956年 一橋大学経済学部修士課程卒業

1958年 英国ケンブリッジ大学セント・ジョンズ・カレッジ卒業

1959年 外務省入省

1983-86年 パプアニューギニア駐節特命全権大使

1986-89年 日本政府国連代表部特命全権大使

1990-96年 OECD (経済開発協力機構) 事務次長

現在 東洋英和女学院大学大学院客員教授/早稲田大学現代中国総合研究所所長/国連歴史編纂プロジェクト国際諮問委員会委員

著書 「南北問題—解決への道—」(サイマル出版 1993年)

「21世紀の南北問題—グローバル化時代の挑戦」(早稲田大学出版部 2001年)

「東アジア経済圏を提唱する—日本はより積極的貢献を」(「世界」2003年10月号)

その他論文多数

趣味 特に趣味といったものではなく、ゴルフは下手。野球はプレイするのが好きで、ポートモレスビーでは日本の若い人と「富士チーム」を組織して、パプアニューギニアのソフトボールリーグにプレイヤーとして参加した。歌うのも大好きで、ポートモレスビーの日本語補習校では歌の先生をいたしました。

## 日本・パプアニューギニア協会 役員の紹介

名誉会長：山下 徳夫(元 運輸大臣 元 衆議院議員 元 日本パプアニューギニア友好議員連盟会長)  
名誉顧問：大河原良雄(元 駐米大使 財団法人世界平和研究所 理事長)  
顧問：原田昇左右(衆議院議員 日本パプアニューギニア友好議員連盟 会長)  
：伊藤 公介(衆議院議員 日本パプアニューギニア友好議員連盟 副会長)  
：植竹 繁雄(衆議院議員 日本パプアニューギニア友好議員連盟)  
：左藤 章 (衆議院議員 日本パプアニューギニア友好議員連盟)  
：マイケル・マウエ 駐日パプアニューギニア特命全権大使

会長：谷口 誠 (元 駐パプアニューギニア日本大使 元 日本国国連大使)  
副会長〔理事〕：高松 裕満(協和海運株式会社 社長)  
副会長〔理事〕：田野岡 章(王子製紙株式会社 海外植林部長)  
副会長〔理事〕：中野 利弘(オイスカインターナショナル 副総裁)  
副会長〔理事〕：野村 徹 (伊藤忠商事株式会社 機械カンパニー化学プラント部長)  
副会長〔理事〕：畑中 幸子(中部大学 名誉教授 文化人類学者)

監事〔理事〕：土屋 耕太郎(土屋法律事務所)  
幹事〔理事〕：原 晃(国際協力総合研修所)

事務局長〔理事〕：島田 謙三(ニューギニア航空 日本支社長)

現在、本協会役員は上記のようになっております。皆様、ご確認のほど宜しくお願ひ申し上げます。

## パプアニューギニア マイケル・ソマレ首相 歓迎の夕べ

「パプアニューギニア マイケル・ソマレ首相歓迎の夕べ」が、平成15年5月14日、日本・パプアニューギニア議員連盟、日本・パプアニューギニア協会の主催により、東京都千代田区憲政記念館にて執り行われました。

主賓 サー マイケル・ソマレ パプアニューギニア首相をはじめ、駐日パプアニューギニア マイケル・マウエ大使、日本・パプアニューギニア議員連盟副会長 伊藤公介先生(原田昇左右会長ご欠席のため代理)、日本・パプアニューギニア議員連盟元会長兼元運輸大臣 山下徳夫先生、日本・パプアニューギニア協会会長 谷口誠元大使の他に、パプアニューギニア代表団の方々、日本・パプアニューギニア議員連盟の方々、日本・パプアニューギニア協会の会員の方々等々総勢200名ものの方々にお集まりいただきました。まず、伊藤公介先生より本会開催にあたっての歓迎のご挨拶があり、次にマイケル・マウエ大使よりマイケル・ソマレ首相のご紹介がありました。



なごやかな雰囲気の中でのソマレ首相のスピーチ  
ご紹介の後、ソマレ首相より下記のようなスピーチを賜りました。  
(スペースの都合上、一部編集いたしました。)



伊藤副会長の歓迎の言葉



マウエ大使からソマレ首相をご紹介



山下徳夫先生による乾杯のご発声

「日本・パプアニューギニア議員連盟と日本・パプアニューギニア協会は、パプアニューギニアと日本との間にすばらしい関係を築いてくれました。

そのご尽力に感謝するため、私は現在、本国で国会会期中であるにも関わらず、この夕べの会に出席しようと、日本にやって参りました。

近年、日本に留学するパプアニューギニア国民は増えており、また、パプアニューギニアを訪れる日本国民も増えております。このような友好関係を促進するにあたり、日本・パプアニューギニア協会の発足はすばらしいことであり、そのしるしとして、本日、私は協会に1万USDを寄付したいと思います。パプアニューギニアは、28歳のまだまだ若い途上国です。それゆえにすべての国民の生活向上を目標としております。日本のみなさん、両国のより良い未来のために一緒に協力、そして努力しようではありませんか。本日は皆様の暖かい歓迎に深く感謝いたします。」



盛大な拍手をおくる参加者

次に日本側よりマイケル・ソマレ首相に五月人形の兜のプレゼント、マイケル・ソマレ首相からは先のスピーチでも触れました1万USD(約120万円)の寄付がありました。次に、昨年4月にニューギニア航空が成田/ポートモレスビー間に就航した際、日本・パプアニューギニア議員連盟会長 原田昇左右会長と共に、桜の苗木をパプアニューギニアに届けて下さった、松丸友



桜の女王から歓迎の花束贈呈



獅子舞に大喜びのソマレ夫人



受け付け風景



ちよつとひと休み



気さくにに応じていただいたご夫妻

紀(桜の女王)様が、マイケル・ソマレ首相に花束を贈呈しました。

そして、山下徳夫先生による乾杯のご挨拶、最後は神田お雛子保存会による獅子舞で幕を閉じました。

夕べの会は終始なごやかに進み、多くの方が様々な分野の方と幅広く交流できた模様です。

## パプアニューギニアから3名の研修生が来日。

9月27日(土)から10月11日(土)までの15日間、笹川平和財団主催のパプア・ニューギニア観光業従事者研修が行われました。今回の研修は、昨年笹川平和財団の笹川陽平理事長がPNGを訪問し、現地でソマレ首相と懇談した際に、ソマレ首相より旅行業界の研修を依頼され、その意向を受けて、笹川平和財団と在日日本PNG大使館のマウエ大使、日本・パプアニューギニア旅行協会が企画・実施致しました。今回の研修は、日本人旅行者に接していく上で必要な日本語や日本人に適したホスピタリティ、及び日本の観光業の状況などを学ぶということ、主目的として計画され、現地からの研修生は、現在実際に日本からの旅行者の受入業務に携わっている以下の3名が選ばれました。

\* BUSY BEE KUNJIP

(MELANESIAN TOURIST SERVICES LTD)

\* STEVEN IPAI

(TRANS NIUGINI TOURS)

\* MARCO MACCONNEL

(AIR NIUGINI)

主な研修内容は以下のとおりです。

- ※日本語研修  
(観光業に利用する日本語…15時間)
- ※トラベルジャーナル旅行専門学校  
(日本の旅行業の現状)
- ※国際ツアーリスト  
(日本の旅行会社の現場研修)
- ※日本PNG協会 谷口誠会長  
(日本とPNGの両国関係)
- ※ホテル日航東京  
(日本の一流ホテルの現場研修)
- ※富士箱根バスツアー  
(典型的な日本の観光地の見学)
- ※八重山諸島研修



左から ビジー/大浜(石垣)市長/スティーブ/マルコの各氏

八重山諸島研修では、石垣市長に表敬訪問した際に現地メディアの取材を受けて現地の新聞やテレビで数回報道され、現地の方へのPNGについての宣伝にもなりました。

研修生達は、今回の研修を通して、日本人の考え方や習慣などについて理解を深め、PNGでの業務に活かすとともに、職場内でも自分の知識・経験を伝えていきたい、と話していました。

今回の研修プログラムの実施にあたり、日本・パプアニューギニア旅行協会会員の方々には全面的なご協力をいただきました。



研修卒業パーティーのひとコマ

# 世界旅行博2003が盛大に開催されました。

2003年10月3日から5日まで、横浜・みなとみらいのパシフィコ横浜でJATA世界旅行博2003(企画運営:社団法人日本旅行業協会ほか)が開催されました。

今年も世界94カ国から約350の企業・政府観光局がブースを出展し、アジア最大級の旅行業界の展示会となりました。

会期中は天候にも恵まれ、業界関係者33,751名、4日・5日の一般公開日には57,659名の来場者があり、好評のうちに終了することが出来ました。

パプアニューギニアのブースは、日本・パプアニューギニア旅行協会の協力の下、ニューギニア航空とパプアニューギニア政府観光局が出展。

メインエントランスに入ってすぐとロケーションにも恵まれ、約10,000名の来場者にお立ち寄りいただき、パプアニューギニアの魅力幅広い年齢層に対してアピールを行ないました。

ブースでは、パプアニューギニア旅行の案内や、ツアーパンフレットの配布、PNG民芸品の展示即売、毎年好評のPNGコーヒー「パラダイスプレミアムAA」の試飲販売を行い、香り高いコーヒーが出来上がるごとに、ブース前には長い列ができました。

ブースには各旅行会社のスタッフの方々やニューギニア航空のスタッフをはじめ、旅行博での視察とPRにパプアニューギニア政府観光局から、マーケティング&プロモーションマネージャーのジム・ヨマピシ氏、東ニューブリテン州観光局からサイモン・カカイ氏と通訳のノルバート・ベリー氏(財団法人オイスカ/ラバウル・エコテック研修センター所属)が来日。

4日には別コラムで紹介のPNGからの研修生3名も加わり、来場者から寄せられる質問に対し、PNGの最新情報の提供に一役買っていました。



人気を集めたニューギニア航空のブース

ブースに立ち寄る来場者の中には、高さ2mの木彫り像の前で記念撮影をする家族連れや女子学生の姿も見られ、関係者からは『年々ブースに立ち寄ってくださる来場者や、旅行の説明を求める人も増えており、これからのPNG旅行者の一層の増加に期待をしたい』との声も聞かれました。JATA世界旅行博2004は2004年9月24日から26日に、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される予定です。

## 最近の動き

このコーナーでは本協会の最近の動きや予定をお知らせします。

- ◆「パプアニューギニア独立記念日チャリティー・ゴルフ・トーナメント」が、9月20日にパプアニューギニア大使館、日本・パプアニューギニア議員連盟、日本・パプアニューギニア協会主催で、群馬県富岡ゴルフ場にて開催されました。
- ◆本協会は10月末にNPOを申請、受理される予定です。その後2ヶ月間公示され、問題がなければ来春には正式にNPOとして、登記されます。
- ◆本協会会報誌「ごらくちよう」は今回を創刊号として、年4回の発行を予定しています。
- ◆本協会のホームページ開設を只今計画中です。

## 伝言板

このコーナーでは、本協会会員様からの情報提供を行っております。

情報を載せたい方は本協会事務局までご連絡ください。原稿はスペースの都合上、編集させていただく場合がございます。ぜひ、お気軽にご利用ください。

- ◎駐日パプアニューギニア マイケル・マウエ大使が10月23日、ポートモレスビーにて叙勲の名誉をお受けになられました。詳細は次号にてご案内いたします。
- ◎本協会よりお薦めの一冊  
「パノとニューギニア」川口 築 著  
花伝社 1700円  
当協会会員である旅好きなビジネスマン、川口氏がお子さんを連れてパプアニューギニアへ。楽しい旅のエピソードはもちろん同国に関する情報も充実しています。

## 編集後記

本日、ようやく本協会会報「ごらくちよう」の第一号を発行することができました。事務局広報部といえども、素人同様手探り状態です。不備な点も多々あるかとは思いますが、私達も頑張りますので、どうか末永く応援の程、よろしくお願い申し上げます。また、会報「ごらくちよう」に対する皆様の忌憚ないご意見をお寄せください。

ー 編集担当「佐藤直子」ー

1990年にパプアニューギニアを訪ね「地球の歩き方 パプアニューギニア フロンティア編」を執筆、以後自分の文化人類学の卒論、修論までもパプアニューギニアを書いてしまいました。「ごらくちよう」が少しでも皆様のお役に立ちますよう頑張りたいと思います。



## 日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的として、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

**申し込み方法** / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

**年会費** / 個人会員 5,000円  
法人会員 50,000円

**会費受付** / 郵便振替口座をご利用ください。

**口座記号** / 番号 00140-2-277582

**加入者名** / 日本・パプアニューギニア協会

**問合せ先** / 日本・パプアニューギニア協会 事務局  
〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3-10 松晃ビル4F  
(ニューギニア航空 日本支社内)

電話:03-5216-3555

E-mail:info@air-niugini.co.jp